

【編集部より】  
この春大学に進学した米村りんさんにマンガを描いて頂きました。若い感性でこれからもエッジの効いた作品を描いてください。



# 平和新聞

甲府市 徳行4-3-17  
TEL055-287-6272  
山梨県平和委員会

## 山梨版

「3・1 ビキニデー集会の記録誌」で「非核の日本キャンペーン」の意義を学ぼう

記録誌の注文を受け付けています。お申し込みは原水協まで。



自民党裏金問題で悩んだこと

by 米村りん

### 山梨県原水協

## 非核の日本をめざすキャンペーン

### 当面の構想を決定

山梨県原水協は、4月5日の理事会で「ビキニ水爆被災70年から被爆80年へ——非核の日本をめざすキャンペーン」の当面の構想を決めました。その骨子を紹介します。

「被爆の実相を広げる運動」

〈原爆と人間パネル展〉〈高校生原爆の絵展〉〈世界の核被害の告発の展示〉

○各団体ごと、地域ごとに「被爆の実相を広げる」運動を具体化します。

○各団体で、来々8月までの計画をたて公表し、交流します。

○これまでの新婦人の展示活動に学んで、全県の市町村に展示を広げます。

○「南アルプス市民の会」に習って各自治体

に「有権者の過半数を超える運動に大飛躍させよう」。

○署名は、「被爆の実相を広げる」活動と一体で進めます。

○南アルプス市民の会の「月一度のスタンディング」のように独自の行動を企画して各市町村で訪問・対話署名を進めましょう。

○「県民の会」の呼びかけ人の皆さんと広範な団体に署名活動を広げることについて協議します。

※3月22日現在、「県民の会」の日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名の到達は 52,963 筆目

日本国政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名活動

「平和の鐘撞き」を県下の寺院にお願いします。

○アニメ「はだしのゲン」DVDのミニ上映会を開き交流し、参加者に「署名」を呼びかけます。

○8月6日、9日の「平和の鐘撞き」を県下の寺院にお願いします。

○アニメ「はだしのゲン」DVDのミニ上映会を開き交流し、参加者に「署名」を呼びかけます。

○「非核日本キャンペーン」の一つとして位置づけ、会員の参加を呼びかけます。各団体からの参加も大歓迎です。

★4月の行動日

4月30日（火）午後3時半〜4時半。訪問先：甲府・徳行地域平労会館会館に集合。

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める県民の会」の活動

を促進

標比35・1%です。「非核日本キャンペーン」の中で15万筆の目標を達成しましょう。

○全自治体訪問・要請行動を実施（5〜6月）。

○各団体で分担して訪問。セレモニーでの挨拶、署名への協力、ペナントへのサイン、募金、原爆展などの開催などを要請します。

○「地域での共同」を推進するため、関係機関の協議の場を設け、「平和行進・地域実行委員会」の立ち上げ」を呼びかけます。

原水爆禁止2024年世界大会を成功させる

8月3日〜4日：広島・国際会議、4日〜6日：世界大会、総会・分科会

8月8日〜9日：世界大会長崎、フォーラム、ナガサキ集会

2024年度国民平和大行進県内行進（7月10日〜18日）を成功させる

### 山梨県平和委員会

## 『やまなし平和チャンネル』

### オンライン講座

### 始めます！

◆第1回講座◆

開催日 5月7日 午後6時から

テーマ 長崎幸太郎県知事の裏金問題の疑惑に迫る

講師 共産党県議会議員 名取 泰さん

参加希望者は5月4日までにメールで「氏名、メールアドレス、携帯電話番号」をお知らせください。

申込み先アドレス sugasawa.sabu@gmail.com

申し込んだ方にオンラインのURLを返信します。当日は午後5時30分からZOOMに入室してください。

○一人でも多く派遣できるように、個別の取り組みの中に常に位置づけて追求しましょう。

○派遣資金の準備（募金など）にも今から取り組みましょう。

○新婦人山梨県本部は代表派遣を決定。山梨民医連も代表派遣の予定。

第3回核兵器禁止条約締約国会議（2025年3月、ニューヨーク）への代表派遣

緊急！

155mm榴弾砲 砲撃訓練

米沖縄海兵隊が北富士演習場で

5月15日から24日まで（訓練実施は8日間）

○人員…約300人

○車両…約80台

○砲門数…5門

○訓練時刻…7時〜21時

※監視活動等については追って連絡します。

○地域・職場で「キャンペーン」の多彩な経験を創り出し、世界大会に代表を送り出しましょう。

○各団体・地域で、代表派遣目標、署名目標、募金目標を持ち、ただちに取り組みましょう。

\*県原水協として「非核日本キャンペーン」山梨版ニュースをメール配信し、各団体・地域の経験を広げます。

メーデーの季節になると、『晴れた五月の青空に』とともに『筑紫野の緑の道をすすみゆく十萬の戦列』のメロデーも口ずさむ。（荒木栄作詞作曲）この勝利ひびけとろけに一番は『基地板付の包囲めざしすすみゆく我等の戦列』で締める。緑の野を赤旗を掲げて十萬もの隊列が進む姿を想像して胸が熱くなったものだ。▼荒木がこの曲を作ったのは1962年。朝鮮戦争は休戦になっていたが、アメリカはベトナムへの介入を強めていた。板付基地はベトナム戦争の前線基地へと強化されていく。▼事故は日常茶飯事だった。68年の九州大学でのファントムの墜落は知られているが、戦後、基地の大部分が返還された72年までの27年間で米軍機の墜落や炎上が34件、装備品の落下などを含めると114件の事故が起きており、死者も20人にのぼる。▼返還後、福岡空港となったが、県都中心街へのアクセスの良さは抜群。裏返せば大都市に近接して危険な基地が置かれていたということ。その板付基地に駐留していた米軍が嘉手納基地へ移転していった。板付基地の危険が沖繩に移転したという点も忘れてはならない。（清）



